

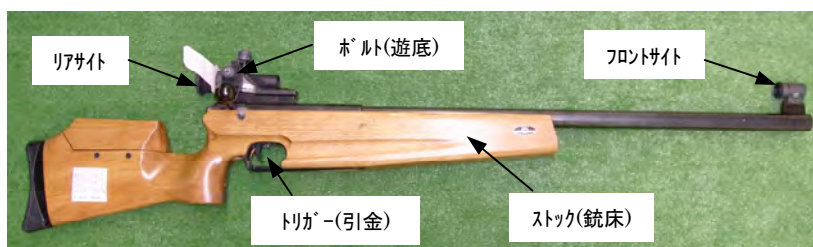
ビームライフル、デジタルピストル入門

射撃競技とは

射撃競技は、オリンピックの第 1 回大会から正式競技として採用され、世界でも多くの人々が楽しんでいます。しかし、競技に鉄砲を使用することもあり、日本では馴染みの薄いスポーツとなっています。

ビームライフルとは

ビームライフルは、写真のストロボと同じ光線を利用し、エアライフルと同じ規格で作られています。電源は、ストック（銃床）の先端に入っているバッテリーで、バッテリーは充電して繰り返し使用できます。



ビームライフルの標的

ビームライフル



ビームライフルのモニター

ビームライフル競技とは

ビームライフル競技は昭和 50 年の三重国体から正式種目となりました。競技種目としては、『立射』と『肘射』の 2 種目があります。委託物を銃床の下に置き射撃する『自由姿勢』というものもありますが、身体障害者用の競技として行われています。また、近年、生涯スポーツとしても注目されています。

ビームライフル競技には、立射姿勢と肘撃姿勢があり、各々 60 発（制限時間＝立射：45 分、肘撃：40 分）と 60 発（立射：60 分、肘撃：50 分）の競技が一般的です。（現在立射競技のみ）



ビームライフル立射姿勢

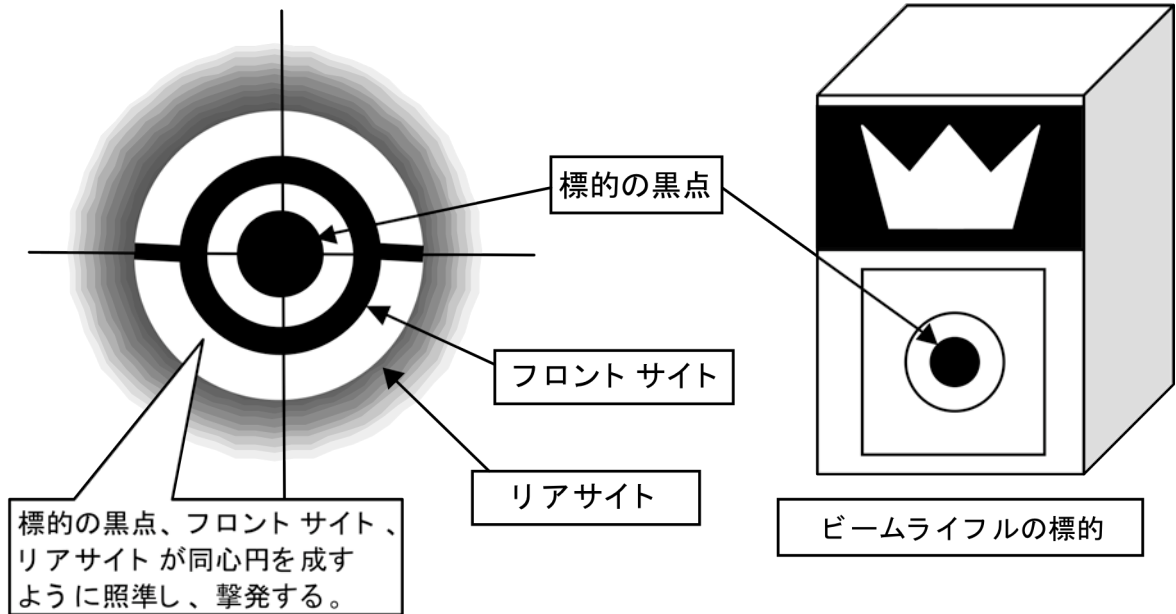


ビームライフル肘撃姿勢

ビームライフルの安全性について

ビームライフルは、光線銃であるため、誰でも安全に使用でき、年齢・性別に関係なく競技ができます。そのため、射撃場も特に建設する必要性もなく、普通の体育館で競技や練習が可能です。

ビームライフルの照準の仕方

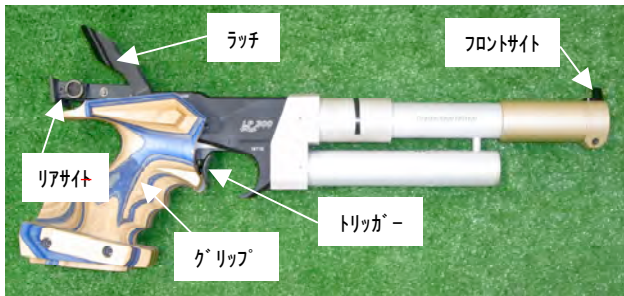


ビームライフル体験射撃スコア表

名前/着弾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
(1回目)											
(2回目)											

デジタルピストルとは

NEC パーソナルプロダクツと日本ライフル射撃協会とが共同開発した最新式の射撃で、弾の代わりに微弱な赤外線レーザー光線を使い、競技を行います。また、最新の電子工学技術を使うことで、オリンピックで行われる競技を同等の精密さも備えています。また、パソコンをモニターとして接続しているため、射撃の軌跡が確認でき、練習を客観的に行うことができます。



デジタルピストル

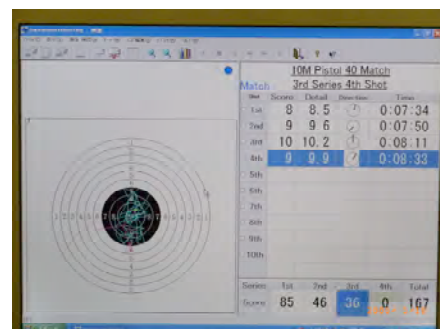


デジタルピストル競技に必要な機材

(日ラ HP から引用)



デジタルピストルの標的



デジタルピストルの標的モニター

(パソコンの画面)

デジタルピストル競技とは

デジタルピストルの競技にはスタンディングとフリーポジションとがあります。ジュニア（高校生）も平成 23 年の山口国体よりスタンディングが正式種目として採用されます。

デジタルピストル競技として一般的なものはスタンディング姿勢で、40 発競技（制限時間＝50 分）及び 60 発競技（制限時間＝70 分）がありますが、平成 21 年度から、日本ライフル射撃協会の試合では男女共 40 発競技に統一されています（国体も 40 発競技）。



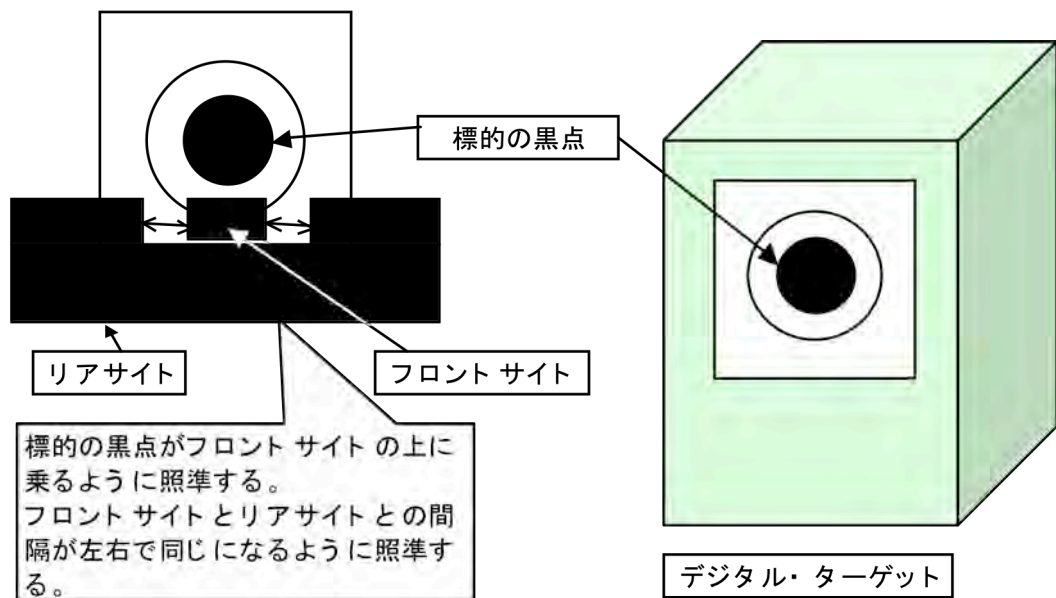
デジタルピストルの射撃姿勢（スタンディング）

* 現在は銃はビームピストルに、競技は45分、60発に変更されている。

デジタルピストルの安全性について

デジタル・ターゲットを狙った時のみ赤外線レーザーが照射される安全設計としています（※人や物に向けてもレーザーは発射されません）。

デジタルピストルの照準の仕方



デジタルピストル体験射撃スコア表

名前/着弾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
(1回目)											
(2回目)											

射撃競技における安全規則とマナー等（抜粋）

【安全規則】

1. 銃器は、決して人に向けてはいけません。
(弾が出る、出ないにかかわらず向けてはいけません。)
2. 他人の銃器には触れてはいけません。
3. 銃器を取り扱うときは、常に標的の方向に向けて下さい。
4. 銃器を台の上に置くときは、必ず安全な措置を施してください。
(ボルトまたはラッチを開放して電源を OFF にし、デジタルピストルの場合は銃口カバーをして下さい)
5. その他、射撃場の管理者（射場長）の指導に従って下さい。

【マナー】

1. 銃器は精密機械です。丁寧に扱きましょう。
2. 練習が終わったら銃の電源を切り、電池を抜いて片づけましょう。
3. 練習が終わったら銃器を拭き、移動した部分は元の位置に戻してから片づけましょう。
4. デジタル射撃の場合、射座で飲食はできません。
5. 携帯電話は射撃中電源を切り、射座には持ち込まないようにしましょう。

【簡単な用語解説】

BRS：ビームライフルスタンディング（立射）の略

BRT：ビームライフルテーブル（肘射）の略

DP：デジタルピストルの略

日ラ：日本ライフル射撃協会の略

試射：サイティング・ショットともいい、照準を確かめるために無制限に射撃できること。

本射：試射から実際の採点対象となる標的射撃をすること。

ファイナル：決勝のこと。本射で上位8名が決勝に進出し、1発ごとに小数点第一位までの点数を採点し10発の合計点で順位を決定する。

ターゲットとの距離は10m

